

2024 年 2 月 27 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ルワンダ共和国（以下、「ルワンダ」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：キガリ市マサカセクター
- (3) 案件名：マサカ上水道整備計画（Masaka Water Supply Project）
- (4) 計画の要約：

本計画は、キガリ市マサカセクターにおいて新規取水施設、浄水場及び配水池、送配水管網等を整備することにより、より安全かつ安定した給水の実現を図り、もってルワンダの社会サービスの向上（安全な水・衛生サービスの持続的な提供）に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

1994 年のジェノサイド発生からの復興過程において、国際社会の支援の下で国内情勢の安定化を実現してきたルワンダは、近年 7%前後の経済成長率を維持しており、内戦からの復興及び経済成長のモデル国として、不安定な状況が続く大湖地域における極めて重要な存在となっている。またカガメ大統領は、近年、アフリカ連合（AU）改革を主導し、第 8 回アフリカ開発会議（TICAD8）でも岸田総理から言及があった民間投資の誘致に積極的であるなど、アフリカによるオーナーシップを尊重しつつアフリカ大陸全体の成長のために協力する我が国にとって重要なパートナーであり、同国との友好関係を一層強化することは外交的意義が高い。

ルワンダは、これまで国際場裡での我が国の立場に賛同する親日国である。また、我が国が重視する安保理改革や TICAD プロセスにも積極的であり、同国と良好な関係を維持・強化することは我が国の対アフリカ外交にとって極めて重要である。

我が国は、ルワンダのドナーコミュニティにおいて、2013～2020 年まで水・衛生分野の「リード・ドナー」として支援を主導しており、現在も同分野の「アクティブ・パートナー」であり、同分野での貢献が同国政府から期待されていることから、同国政府からの要望に応え本計画を実施することは二国間関係の強化に資する。

- (2) 当該国における水・衛生セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

同国の人口は 1,320 万人（2022 年）、うち約 180 万人がキガリ市に集中しており、急速な都市化が進む中で都市給水の改善は大きな課題となっている。我が国は、技術協力「キガリ市上水道改善整備マスタープランプロジェクト」（2019～2021 年）により 2050 年までのマスタープラン（以下、「マスタープラン」という。）を策定支援した。同マスタープランに基づき、我が国は無償資金協力「キガリ市ンゾベノトラ間送水幹線強化計画」（2023 年完工）及び「キガリ市中央北部における給水サービス改善計画」（2022 年～2026 年）を実施し、ンゾベ浄水場からノトラ配水池を経て中央北部への送配水施設を増強・更新し、飲料水へのアクセス率の改善に取り組んでいる。また、実施機関であ

る水衛生公社（WASAC）に対し、技術協力を通じた無収水削減や運営改善のための能力強化等の支援を行っている。

キガリ市の上水道整備が進む中、キガリ市南東部のマサカセクター一帯は急速な宅地開発に伴う人口増加によって水需要が急増している。現在人口 7.9 万人（2022 年）のマサカセクターの給水人口は約 26,000 人、給水率は約 33%（2021 年）に留まっており、同セクターへの水供給は慢性的に不足している。同セクターの人口は 2035 年に 16.9 万人、水需要は 20,280m³/日への急増が見込まれるため、キガリ市は段階的な浄水施設整備を計画しており、その第一弾として WASAC から JICA に対しマサカセクターの上水道整備に係る要請があった。

本計画は、実施中の無償資金協力と並んでマスタープランの 15 年投資計画（2021～2035 年）における優先事業とされており、同計画及び国家開発計画の達成に貢献するものである。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 土木工事（浄水場施設（20,000m³/日）、取水井戸設置（最大 20 本）、導水管（約 4.6km）、送水管（約 11.2km）、配水池（8 箇所）、配水管（約 15.9km）、給水設備
イ) コンサルティングサービス（詳細設計、入札補助、施工監理等）

② 期待される開発効果：浄水場の供給量（m³/日）の増加（0→20,000 やマサカセクターにおける給水人口（人）の増加（26,000→169,000）により、安全な水へのアクセス及び対象地域の生活環境改善への貢献が期待される。

③ 借入人：財務・経済計画省

④ 計画実施機関／実施体制：水衛生開発公社（事業実施）、水衛生運用公社（事業実施機関運営・維持管理）

⑤ 他機関との連携・役割分担：アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ（EPSA for Africa）の下でのアフリカ開発銀行との協調融資枠組みでの実施可能性を協力準備調査を通じて検討する。

⑥ 運営／維持管理体制：WASAC が運営・維持管理を行う。WASAC は技術協力プロジェクトの活動を通じ運営・維持管理体制の強化がなされているが、今後必要に応じて更なる運営維持管理及び経営能力強化等の技術支援を検討する。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：A
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 本計画では、先行して実施している無償資金協力「キガリ市における中央北部給水サービス改善計画」で導入している配水エリアのブロック化を検討する。また、浄水に係るデジタル技術の利用やデータ利活用等について協力準備調査で確認する。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

セネガル共和国向け無償資金協力「タンバクンダ州給水施設整備計画」（評価年度 2014

年)の事後評価において、技術協力の実施による実施機関の能力強化後に無償資金協力を実施することで、事業完成後の維持管理を効率的に実施することができるとの教訓を得ている。同国においては、WASAC に対し技術協力「キガリ市無収水対策強化プロジェクト」(2016～2022 年)を実施し、無収水の測定や削減技術、計画策定等に関する技術移転を行った。加えて、現在実施中の技術協力「キガリ市水道事業体運営改善プロジェクト」(2022～2027 年)においても、WASAC に対し継続的に技術支援を行うことで、本計画で整備した施設のより効率的な運用と維持管理を目指す。

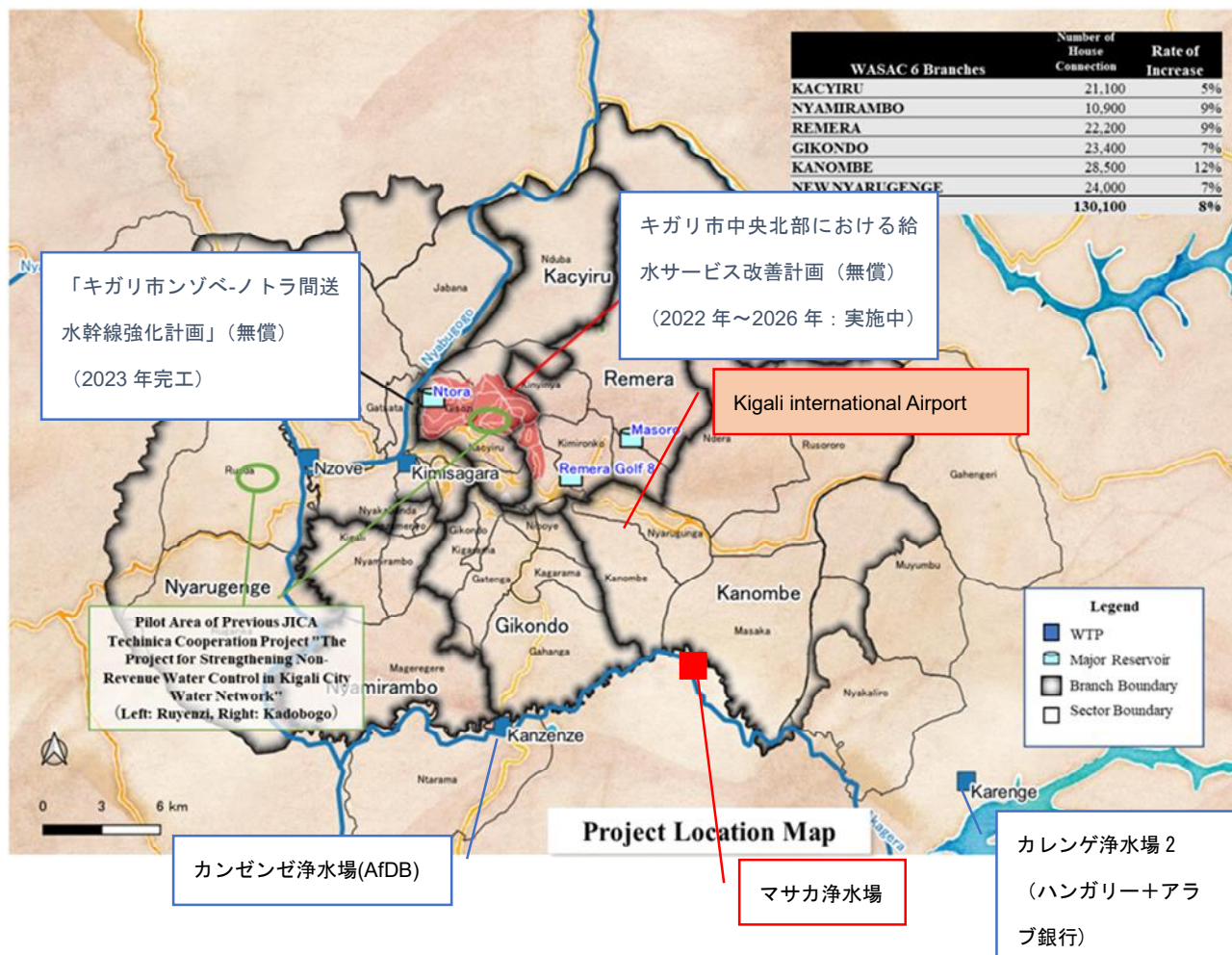
以 上

[別添資料] マサカ上水道整備計画 地図

[別添資料] マサカ上水道整備計画 地図

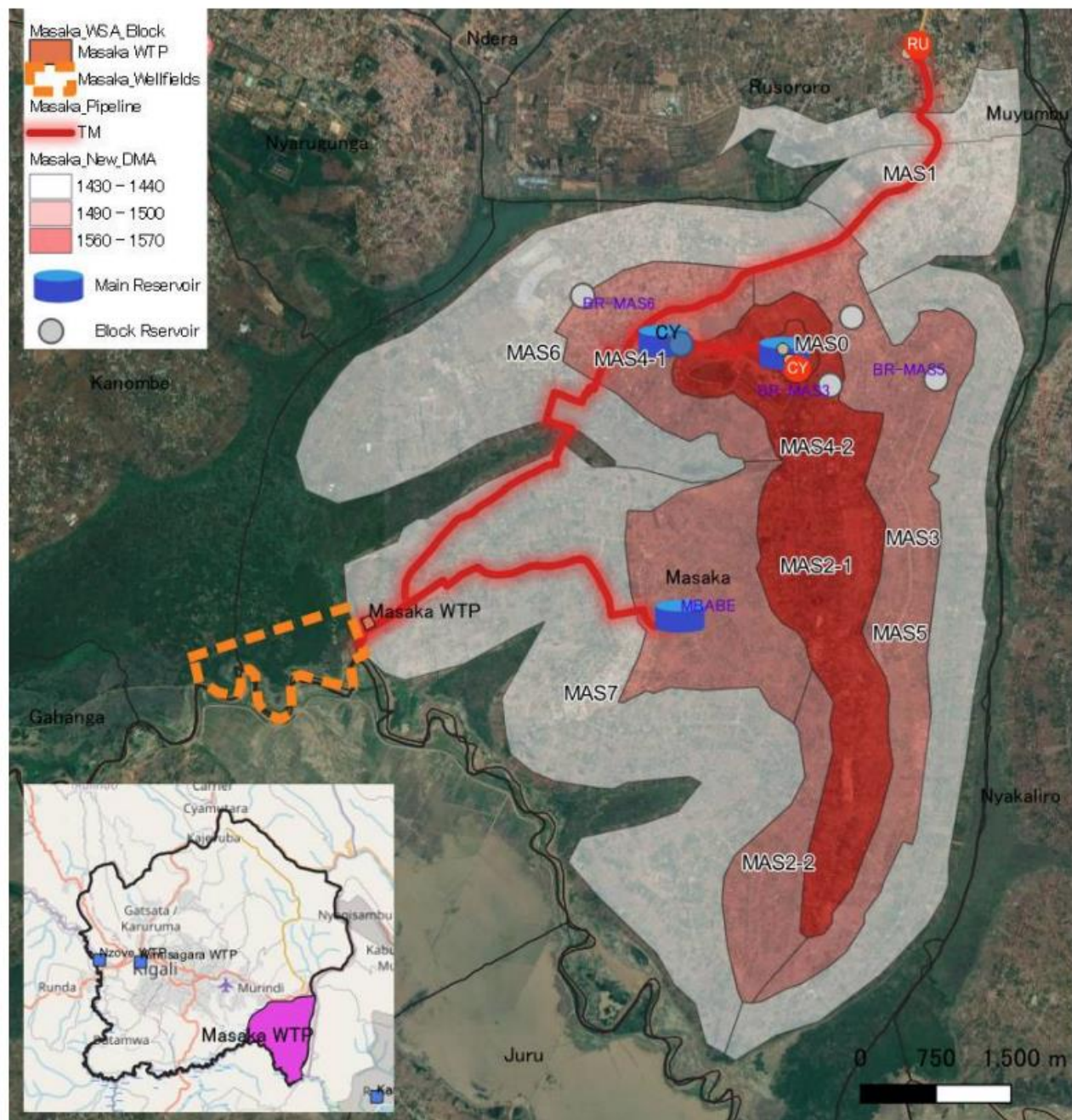


出典：United Nations (<https://www.un.org/geospatial/content/rwanda>)
 (キガリ市上水道分野の協力位置図)



出典：JICA「キガリ市水道事業体運営改善プロジェクト」資料等より作成

(マサカ上水道整備計画エリア位置図)



出典：ルワンダ共和国キガリ市上水道改善整備マスタープランプロジェクト ファイナルレポート (<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/1000047741.pdf>) よりJICA作成